



まんぼし

唐津市立西唐津小学校
学校だより 第181号
令和8年 3月19日(木)
文責 校長 古川 雅



学校 HP

6年生が卒業し、少し寂しくなった水曜日の様子です

6年生が卒業しました。朝のあいさつ運動でも人数が少なく、挨拶の回数も減りました。

学校内も6年生の声が聞こえず、少し寂しくなった気がしました。低学年の子どもたちの中には「〇〇ちゃんがないと寂しいな」と、つぶやいている子どももいました。確かに学校内で、毎日顔を合わせていた6年生を見かけないのは、違和感があります。

しかし、いつまでも寂しがってはいられません。それぞれ、一つ上の学年を見据えて残りの学校生活を過ごして欲しいものです。



4年生は社会科「都道府県について」の学習でした。自分が選んで調べた都道府県について、それぞれのクラスで発表が行われましたが、クラスごとではなく、入れ替えを行ってクラスが入り混じっての発表でした。いつものメンバーと違うので緊張感が違ったようでした。





3年2組は、来年度のクラブ活動の希望を決めていました。

各クラブが作ったクラブ紹介のビデオを電子黒板で見ながら、どのクラブがいいのかを書き込んでいました。来年度一年を通してのことなので、電子黒板を眺める目が真剣です。

1年生は、生活科の学習「大きくなったじぶんをみつめよう」でした。手紙を書いていました。内容については、秘密にしてほしいという希望がありましたので、ここでは書かずにおきます。

悩みながら書いていましたが、字形がしっかり整っており、成長を感じました。

